

---

**2006 年度**  
**映画英語教育学会 (ATEM) 関西支部**  
**第 4 回大会**

シンポジウムテーマ：「映画 “I am Sam” 徹底活用法」

---

日時：平成 **18 年 10 月 21 日 (土)**  
**10:30~17:50**

場所：大阪工業大学大宮キャンパス  
**7 号館 5 階 LL 教室**

【大宮キャンパス】

〒535-8585 大阪市旭区大宮 5 丁目 16-1

<http://www.oit.ac.jp/japanese/access/omiya.html>



## 大会プログラム

**10:30-12:45**

映画 "I am Sam" 上映

**13:00-13:15**

支部総会

司会：横山 仁視（京都女子大学短期大学部・ATEM 関西副支部長兼事務局長）

挨拶：藤枝 善之（京都外国語短期大学・ATEM 関西支部長）

-----  
総合司会：倉田 誠（京都外国語大学・ATEM 関西支部大会実行委員長）

**13:15-14:30**

シンポジウム：映画 "I am Sam" 徹底活用法

パネリスト：

松井 夏津紀（関西学院大学・院生）＜英語学の視点から＞

中井 英民（天理大学）＜ビートルズの音楽の視点から＞

佐藤 弘樹（FM 京都 α-Station）＜人権の視点から＞

司会：横山 仁視

**14:30-14:40**

休憩

**14:40-15:10**

研究発表 1 井村 誠（大阪工業大学）

**15:10-15:40**

研究発表 2 近藤 暁子（奈良工業高等専門学校）

**15:40-16:10**

研究発表 3 平井 大輔（京都産業大学・非）

**16:10-16:20**

休憩

**16:20-16:50**

研究発表 4 仲川 浩世（関西外国語短期大学・非）

山本 淳子（新潟県立看護大学）

**16:50-17:20**

研究発表 5 斎藤 安以子（摂南大学）

**17:20-17:50**

研究発表 6 與古光 宏（九州産業大学・非）

司会：西川 真由美（摂南大学）・松田 早恵（摂南大学）

**18:10-20:00**

支部交流会（学園創立 60 周年記念館）

司会：倉田 誠（大会実行委員長）

挨拶：藤枝 善之（支部長）

## シンポジウム発表概要

### ●松井 夏津紀

発表概要：

英語には cut down や use up のような「主動詞＋不変化詞」で表される句動詞があり、その使用頻度は高い。本発表では、影山（1999）などで論じられている句動詞の特徴を基に、“I am Sam”における使用例を考察する。

### ●中井 英民

発表概要：

これまでビートルズが登場する映画は多くあったが、「I am Sam」ほどビートルズをフィーチャーした映画はない。この発表では、「I am Sam」とビートルズ」を出発点にして、「文化としてのビートルズ」、「英語学習教材としてのビートルズ」について取り上げる。

---

### ●佐藤 弘樹

発表概要：

知的障害者を主人公にした映画「I am Sam」では障害者の権利とそれをとりまく環境が深く掘り下げられて描かれている。劇中での日米の差異に着目し、また、主人公サムと友人たちに現実の知的障害者が起用されている点に関する学生アンケートをご紹介します。

---

## 研究発表概要

---

### ●「コーパスを活用した教材作成 —映画シナリオと Graded Reader を用いて—」

井村 誠（大阪工業大学）

発表概要：

本発表では、映画を用いた授業で、教材作成にコーパスを活用する方法について述べる。事例は、工学部1年生を対象とする一般英語の授業で、読解力のみならず、リスニングや会話の総合的な力をつけるために、映画『ノッティングヒルの恋人』のDVDとともに、Graded Reader とシナリオを併用した。授業では学習者の理解を助け、言語活動を促進するために毎回ワークシートを作成し、授業の最後には小テストを行った。これらの教材を作成する上で、コーパスを以下のように活用した。

- 1) Graded Reader からスキャナを使ってコーパスを作成し、そこからフリーウェアを使って語彙表の作成や、例文の抽出を行い、教材を作成した。
  - 2) 映画シナリオからパラレルコーパスを作成して、筆者が作成した検索ソフトを用いて例文を抽出し、教材を作成した。
- 

### ●“The Effects of Using Films in the Japanese High School English Class”

近藤 暁子（奈良工業高等専門学校）

発表概要：

映画を使用した英語指導は多くの指導者たちによって実践されており、その効果についても様々な視点から研究がなされているが、本発表においては公立高等学校普通科で学ぶ高校生約80名を対象に、映画『スチュアート・リトル』を使った授業による学習意欲とリスニング力に与える影響を調べた研究結果について報告を行う。被験者を2つのグループに分け、1学期間1つのグループの生徒は映画を使った授業を受け、別のグループの生徒は映画を使わない授業を受け、指導の前後にアンケートとリスニングテストを実施しその結果を比較した。その結果、映画を使った授業は生徒の学習意欲、リスニング力を向上させることに何らかの効果があることを示唆した。リサーチ結果に加え、リサーチに使用したレッスンについても紹介する。

---

### ●「映画を用いた文法指導 —ミセス・ダウトを通じて—」

平井 大輔（京都産業大学・非）

発表概要：

生成文法などの理論言語学の急速な発展と共に、英語に見られる各構文が明らかにされ、また同時に日本人英語学習者に多く見られる弱点も明らかにされている。例えば、不定詞節と動名詞節においては、下記に示した(1)のように前者では Irealis (未来志向) の内容を示し、後者は Realis (叙実的、現実的) の内容を示すと Emonds (1991)、Martin (1992、

1996) らによりにより主張されている。

- (1) a. \*John hoped mowing the lawn.
- b. John hoped to mow the lawn. (Emonds (1991:140))
- c. I remember him saying that. (= I remember that he said that.)

本発表では、これらの研究を概観し、この知見がどのように大学の文法指導に有効活用できるかを倉田、スミス、横山、石川、松田 (2006) による大学生用テキスト『「誤」法から伸ばす英語力』(金星堂) を元に検討し、映画『ミセス・ダウト』を用いた文法指導の一提案を紹介する。

---

### ● 「セリフ先渡し方法による聴解力向上プログラムの実践」

仲川 浩世 (関西外国語短期大学・非)  
山本 淳子 (新潟県立看護大学)

発表概要：

映画を使用したリスニング指導では、ディクテーションや穴埋めをさせる実践が多く見られる。しかしこういった指導においては、誤りに対する affective filter が高まり、その結果自分の実力を発揮できないものも存在する。本研究では活用できるシーンをいくつか選び出し、聴き取れたセリフをチェックさせる「セリフを先渡し法」を実施した。これは、映画英語のようなナチュラルスピードのセリフでも、活字で確認してからなら、比較的聴き取れることを実感させることで、自信を持たせる事が狙いである。聴き取れた英文をセリフに合わせて繰り返させ、また聴き取りに組みませるというサイクルを続けることで学習者へのリスニング学習の動機づけとリスニング能力の向上を図る。

---

### ● 「「使える」作品が増える、語学教材としての映画の選び方 —Selecting Films for Wider Purposes—」

齋藤 安以子 (摂南大学)

発表概要：

「長すぎる」「難すぎる」「時代背景が中途半端に古い」「PC 上の問題」「教材に適した英語ではない」などの理由で候補から外していった映画がいくつあるだろう。しかし、授業の目的に合うのであれば、映画の全編を授業でとりあげなくともかまわないはずだ。映画の 1 シーンを「選び抜いた言葉と映像で描かれた談話のひとかたまり」と考えれば、授業に使える映画の数はもっと増える。細かく音声、表現、発話行為などを分析し、演技を再現してもよいし、その場面の前後の展開を論じてもいい。内容を深く理解してからなら字幕作成も単なる英文和訳を越えた学習活動となる。映画を多層的に楽しむ力もつくだろう。この発表では実例と共に授業プランをいくつか紹介する。

---

### ● 「英語の呼び掛け語に見る、敬意表現に関する一考察」

與古光 宏 (九州産業大学・非)

発表概要：

「日本語と違って、英語には敬語はない」という誤解をしている学習者は、少なくない。オーラル・コミュニケーションの教科書などを見ても、相手にファーストネームで呼び掛けるなど、カジュアルな口語表現が多く見受けられるが、実際には、相手に敬意を払った対応は、英語にも確実に存在する。本発表では、映画『いまを生きる』の台詞の中から、英語に顕著に見られる、様々な呼び掛け語に注目しながら、英語学習者の、相手との人間関係や状況に応じた、敬意表現の使い分けの必要性について論じる。

---

## ATEM Kansai

<http://www.atem.org/kansai/index.html>

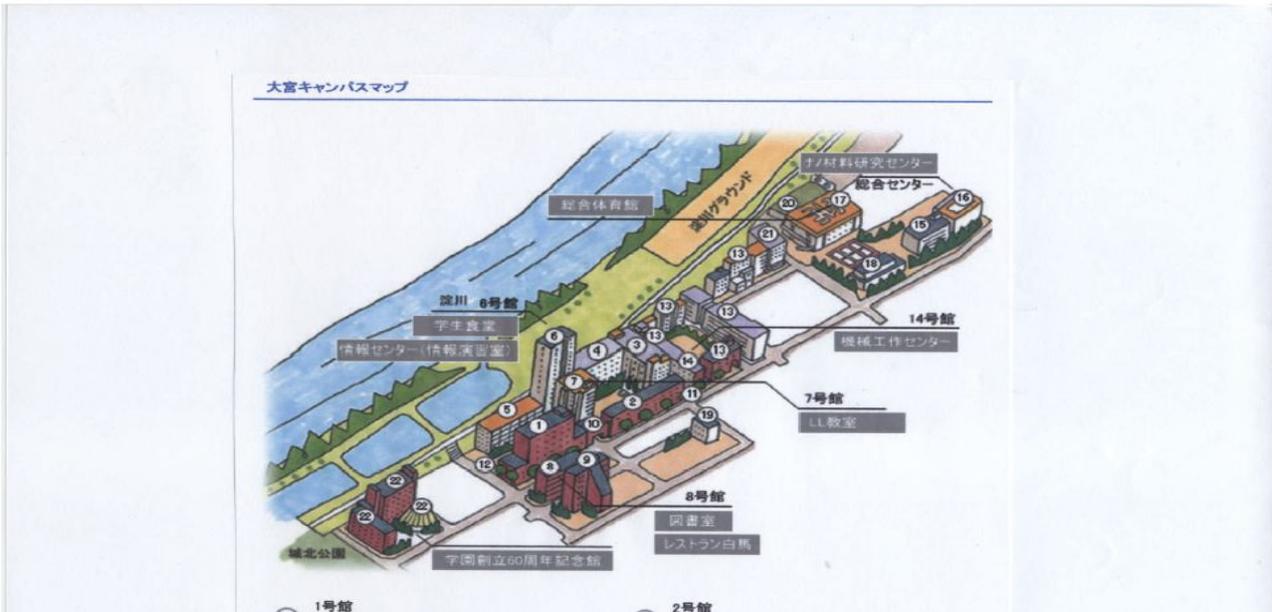
映画英語教育学会 (ATEM) 関西支部

事務局：京都女子大学外国語教室

横山仁視研究室内

yokoyama@kyoto-wu.ac.jp

## 【会場校案内図】

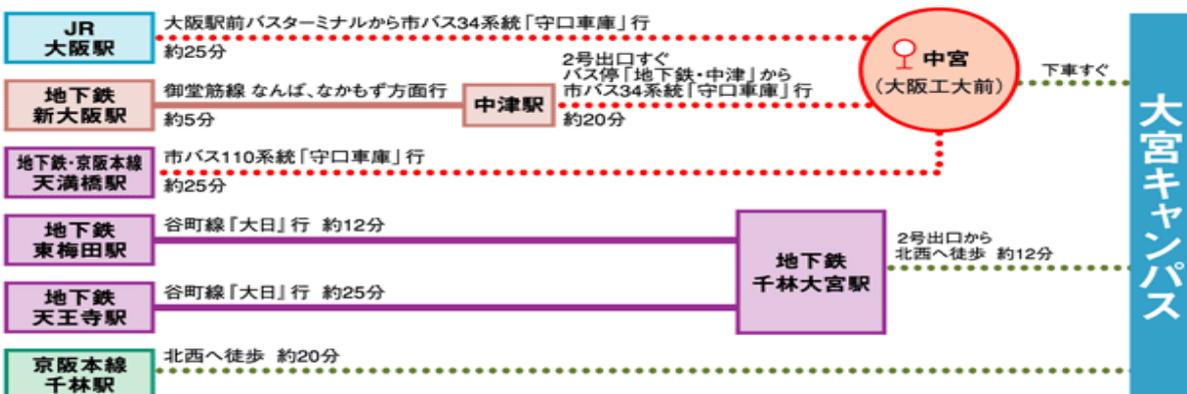


※画面を拡大すると見やすくなります

## 【会場校へのアクセス】

### ■主なアクセス方法

大宮キャンパス (知的財産学部、工学部、大学院工学研究科) へ



## 【これまでのATEM 関西支部大会について】

2002年9月14日	映画英語教育学会関西支部設立決起大会開催 (於: 京都外国語大学)
2003年9月14日	映画英語教育学会関西支部 第1回大会開催 (於: 京都外国語大学) ●シンポジウム: 「怪物映画に学ぶドラキュラ vs フランケンシュタイン vs スパイダーマン」
2004年6月26日	映画英語教育学会関西支部 第2回大会開催 (於: 京都外国語大学) ●シンポジウム: 「映画 "Working Girl" 徹底活用法」
2005年9月18日	映画英語教育学会関西支部 第3回大会開催 (於: 京都女子大学) ●シンポジウム: 「映画 "DAVE" 徹底活用法」
2006年10月21日	映画英語教育学会関西支部 第4回大会開催 (於: 大阪工業大学大宮キャンパス) ●シンポジウム: 「映画 "I am Sam" 徹底活用法」